



水稻の深水管理に適した水位調節式排水施設

—簡単に水位調節ができ、漏水しない排水施設を開発—

開発の背景・ニーズ

愛知県内の水田の排水施設は、コンクリート製の柵（排水呑口柵）で整備されており、この柵に、複数枚のセキ板をはめることで、水田の水位を保ちます。しかし、セキ板の隙間から漏水が生じ易く、水位調節も出来ませんでした。また、水稻の高温障害を軽減させるためには、水位を深くして管理することが必要です。そこで、水位を簡易に調整でき、深水管理を行うことのできる新たな排水施設の開発に取り組みました。

成果の内容

●開発した排水施設の特徴

- ・ 立上管（塩化ビニル製）を上下動させることで、簡単に水位調節が出来ます。
- ・ 自分で設置でき、既設の排水呑口柵に挿入するだけです。
- ・ 雨水を水田内に有効に貯留することができ、節水になります。
- ・ 水稻の深水管理が可能で、高温障害を軽減できます。



水位調節式の排水施設

●操作方法的概略

〈設置〉



①排水施設を仮組みする。



②既設の排水管部分に、施設全体を挿入する。

〈湛水〉



③立上管を上下させ、水位を調節する。

〈落水（中干しも含む）〉



④立上管を押し下げるか、取り外す。

〈農閑期〉



⑤必要に応じて全体を抜き取る。

愛知県農業への貢献

開発した排水施設は、水稻の深水管理を可能にし、高温障害を軽減できます。さらに、雨水を有効に利用する節水効果、水田の持つ洪水調節機能を発揮することができます。